

Ⅱ 住民基本台帳人口による社会動態

1 概 要

平成 23 年の社会動態は、市外からの転入が 4 万 9914 人、市外への転出が 4 万 3983 人で、5931 人の転入超過となりました。

これを地域別にみていくと、東京圏、その他の地方（国外含む）に対して転出超過となっています。また、宮城県内市町村及び東北 5 県に対しては転入超過となっています。仙台都市圏内の宮城県内市町村に対しては、平成 14 年以降はじめて転入超過となりました。

この結果、区間移動と職権記載等のその他増加数を加えた社会増加数は 6540 人で、平成 14 年以降で最大の社会増となっています。（表 2、図 6、統計表第 2、3 表）

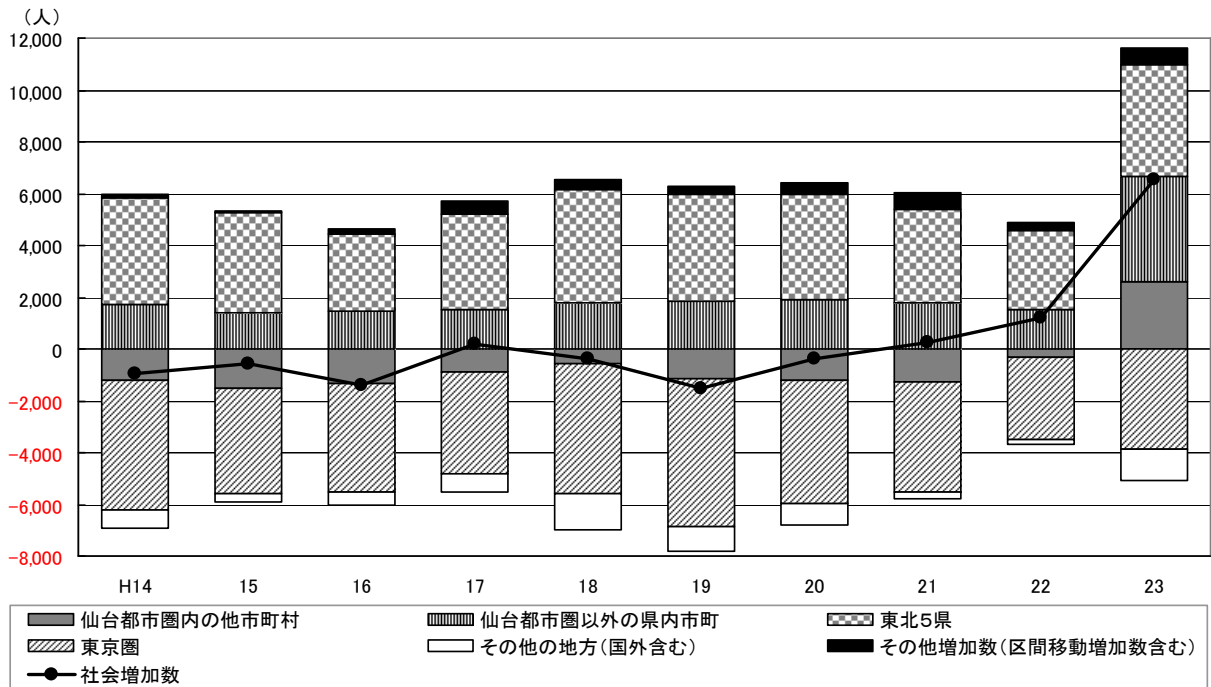
表 2 市外との移動：転入数、転出数、社会増加数の推移—全市（平成 14 年～平成 23 年）

地 域	(単位：人)									
	平 成 14 年	15	16	17	18	19	20	21	22	23
転 入 数	51,881	51,937	49,372	49,340	49,112	47,874	47,128	45,295	43,976	49,914
宮城県	12,879	12,540	12,083	12,128	12,495	12,247	11,978	11,336	11,362	16,179
仙台都市圏内の他市町村	6,151	6,135	5,898	5,952	6,236	6,019	5,911	5,613	5,842	8,272
" 以外の市町	6,728	6,405	6,185	6,176	6,259	6,228	6,067	5,723	5,520	7,907
東北5県	17,604	17,134	16,021	15,973	16,317	15,460	14,821	14,051	13,048	14,237
東京圏	11,281	11,554	10,878	11,216	10,649	10,504	10,848	10,505	10,659	9,936
その他の地方(国外含む)	10,117	10,709	10,390	10,023	9,651	9,663	9,481	9,403	8,907	9,562
転 出 数	53,005	52,558	50,925	49,682	49,944	49,712	47,917	45,636	43,085	43,983
宮城県	12,366	12,635	11,913	11,443	11,272	11,522	11,287	10,783	10,201	9,519
仙台都市圏内の他市町村	7,331	7,658	7,202	6,817	6,790	7,158	7,116	6,857	6,186	5,672
" 以外の市町	5,035	4,977	4,711	4,626	4,482	4,364	4,171	3,926	4,015	3,847
東北5県	13,477	13,287	13,026	12,346	11,955	11,369	10,736	10,420	10,003	9,902
東京圏	16,339	15,620	15,074	15,175	15,654	16,195	15,627	14,798	13,780	13,796
その他の地方(国外含む)	10,823	11,016	10,912	10,718	11,063	10,626	10,267	9,635	9,101	10,766
社会増加数	△ 1,124	△ 621	△ 1,553	△ 342	△ 832	△ 1,838	△ 789	△ 341	891	5,931
宮城県	513	△ 95	170	685	1,223	725	691	553	1,161	6,660
仙台都市圏内の他市町村	△ 1,180	△ 1,523	△ 1,304	△ 865	△ 554	△ 1,139	△ 1,205	△ 1,244	△ 344	2,600
" 以外の市町	1,693	1,428	1,474	1,550	1,777	1,864	1,896	1,797	1,505	4,060
東北5県	4,127	3,847	2,995	3,627	4,362	4,091	4,085	3,631	3,045	4,335
東京圏	△ 5,058	△ 4,066	△ 4,196	△ 3,959	△ 5,005	△ 5,691	△ 4,779	△ 4,293	△ 3,121	△ 3,860
その他の地方(国外含む)	△ 706	△ 307	△ 522	△ 695	△ 1,412	△ 963	△ 786	△ 232	△ 194	△ 1,204
※参考										
その他増加数	151	66	178	530	429	338	423	582	341	609
" を含む社会増加数	△ 973	△ 555	△ 1,375	188	△ 403	△ 1,500	△ 366	241	1,232	6,540

※上記「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等の他に、市内区間移動増減数が含まれています。

(マイナスは転出超過数)

図6 転出入超過数の地域別内訳 (平成14年～23年)



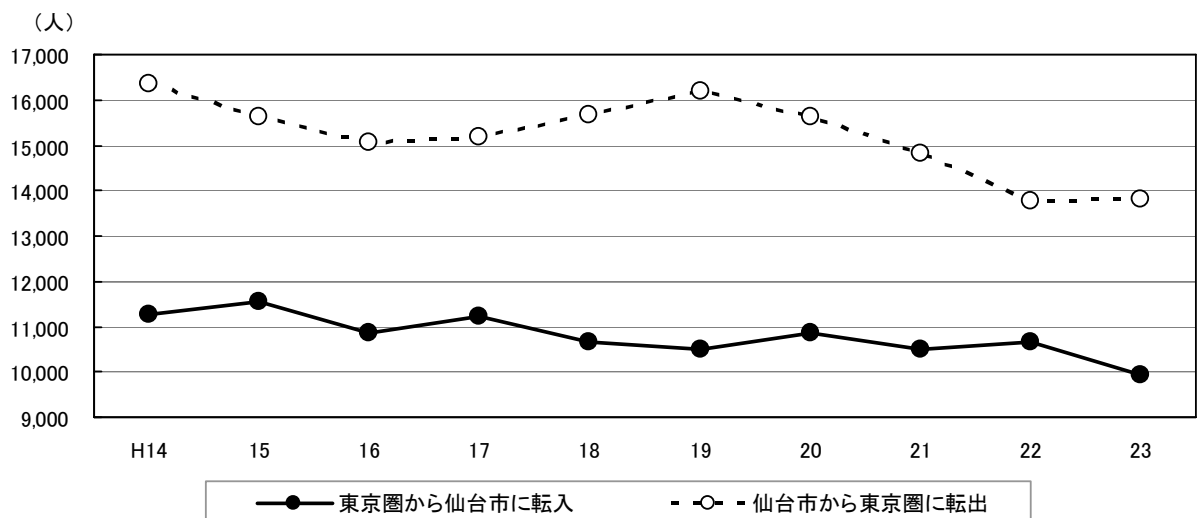
2 東京圏に対する人口移動

東京圏に対する人口移動は、平成14年以降ではすべて転出超過で推移しています。

転出入の差は、東京圏からの転入者数が平成22年より減少したものの、転出者数は平成22年と同程度であったため、平成23年はやや拡大しました。

(図6、7、表2、統計表第2表)

図7 東京圏との転出入者数 (平成14年～23年)



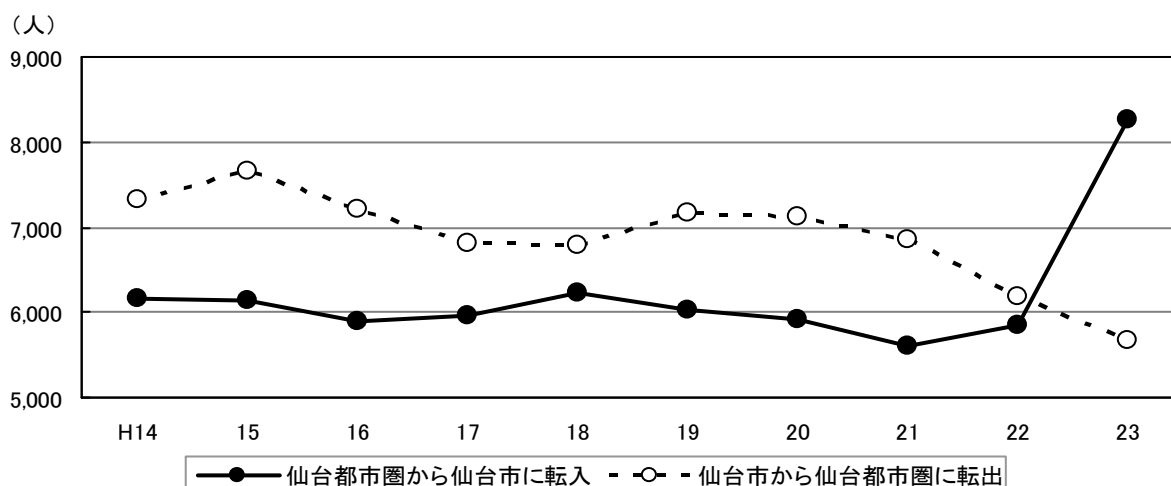
3 県内他市町村に対する人口移動

仙台都市圏内の他市町村に対する人口移動は、転入数が8272人、転出数が5672人で、2600人の大幅な転入超過となりました。市町村別の内訳をみると、転入超過となっているのは9市町村、転出超過となっているのは4市町となっています。

仙台都市圏内の他市町村に対しては、平成14年以降、平成22年までは転出超過でしたが、平成23年は大幅な転入超過となりました。

(図6、8、表2、統計表第3表)

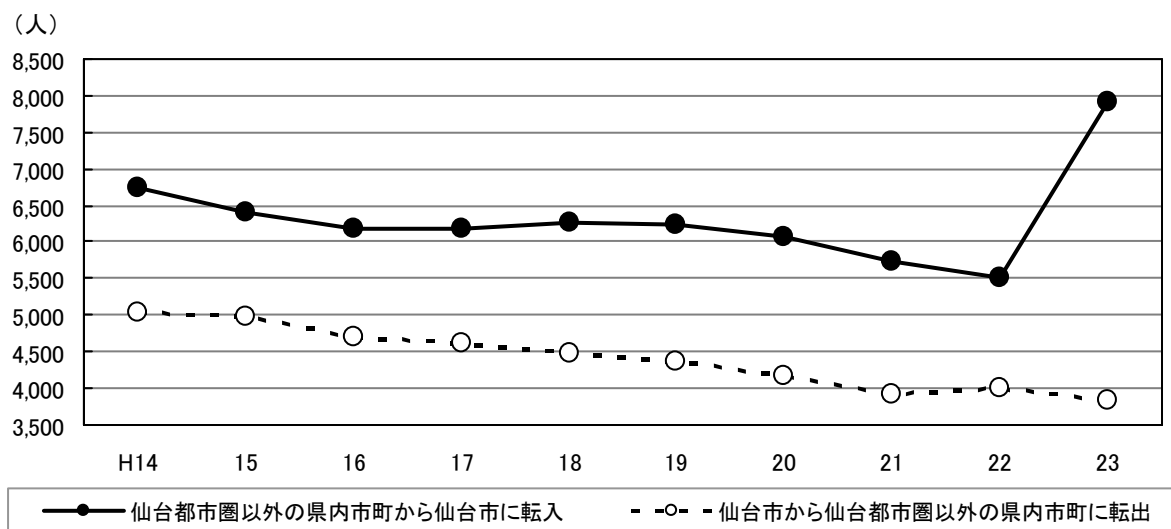
図8 仙台都市圏との転出入者数（平成14年～23年）



仙台都市圏以外の県内市町に対する人口移動は、転入数が7907人、転出数が3847人で、4060人の転入超過となりました。平成14年以降、転入超過が続いていますが、平成23年は転入超過数がさらに増加しました。

(図6、9、表2、統計表第3表)

図9 仙台都市圏以外の県内市町との転出入者数（平成14年～23年）

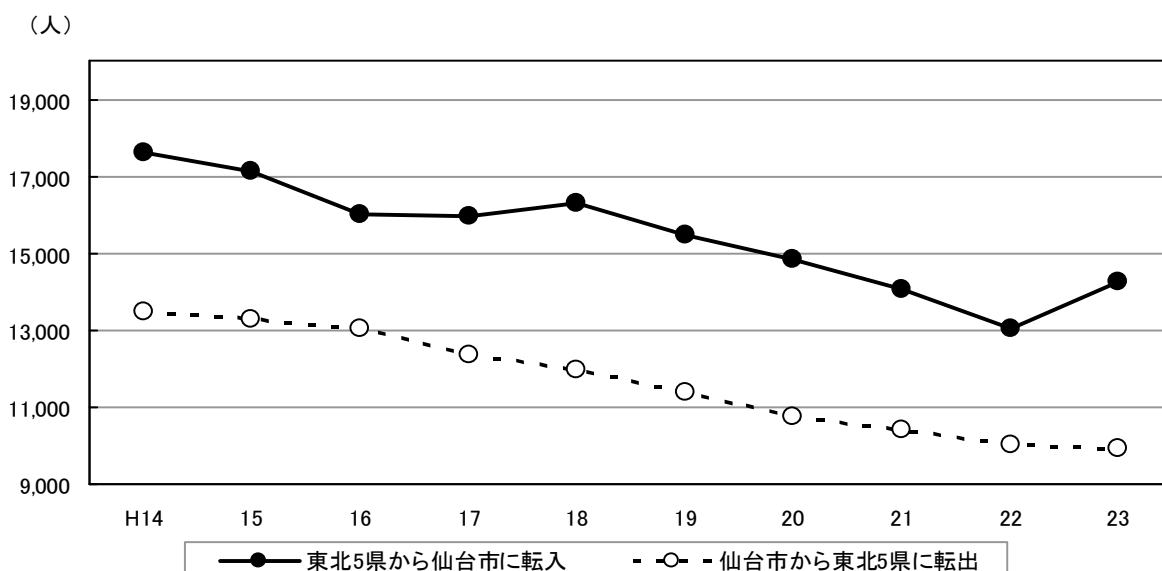


4 東北5県及びその他の地方（国外含む）に対する人口移動

東北5県に対する人口移動は、転入数が1万4237人、転出数が9902人で、4335人の転入超過となりました。平成14年以降でみると、転出数は減少傾向が続いていますが、転入数は平成22年までは減少傾向であるものの、平成23年は前年に比べ増加しています。

(図6、10、表2、統計表第2表)

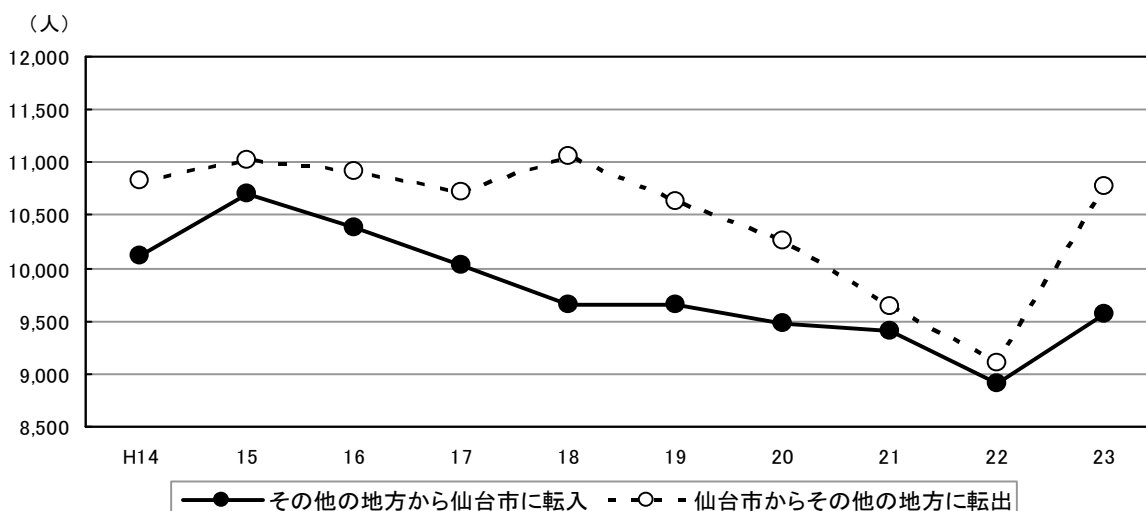
図10 東北5県との転出入者数（平成14年～23年）



その他の地方（国外含む）に対する人口移動は、転入数が9562人、転出数が1万766人で、1204人の転出超過となりました。平成14年以降でみると、転出超過で推移しているものの、平成22年には、前年に比べ転入、転出とも増加しています。

(図6、11、表2、統計表第2表)

図11 その他の地方との転出入者数（平成14年～23年）

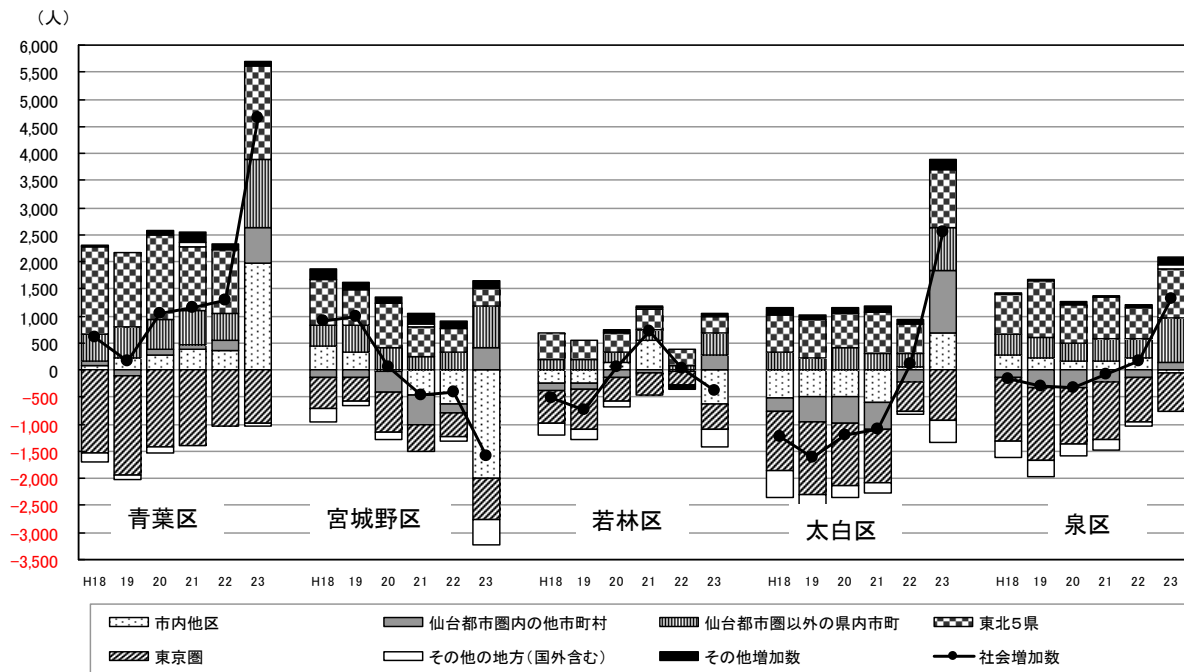


5 区別の社会動態

平成 23 年の区別社会動態は、青葉区・太白区・泉区で社会増、宮城野区・若林区で社会減となりました。その内訳について、次のような点が特徴として挙げられます。

- ① 市内他区に対しては、青葉区・太白区で転入超過、宮城野区・若林区・泉区で転出超過。
- ② 県内市町村及び東北 5 県に対しては、全区で転入超過。
- ③ 東京圏に対しては、全区で転出超過。
- ④ その他の地方に対しては、泉区を除く 4 区で転出超過。

図 1 2 地域別社会増加数（転入数－転出数）－区（平成 18～23 年）



【青葉区】 市内他区，宮城県内の仙台都市圏以外の他市町の転入超過数が大幅に増加したため，社会増加数全体として大幅な増加となった。

【宮城野区】 市内他区への転出超過が大幅に増加したため，宮城県内の他市町村に対しては，前年に引き続き転入超過であったが，社会増加数は大幅な減少となった。

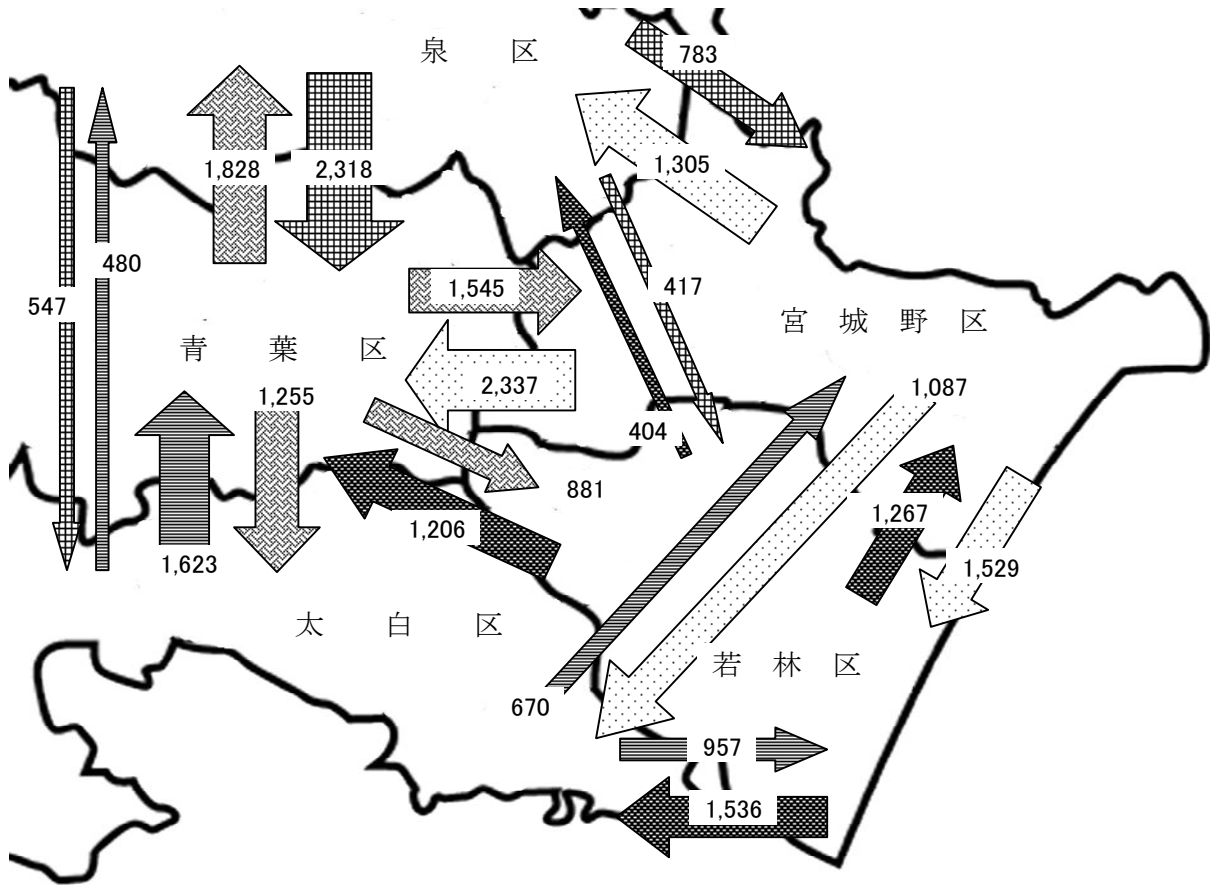
【若林区】 市内他区への転出超過が大幅に増加したため，宮城県内の他市町村に対する転入超過が増加したものの，社会増加数は大きく減少した。

【太白区】 市内他区，宮城県内の他市町村，東北 5 県に対して転入超過が大幅に増加したため，全体として大幅な社会増となった。

【泉区】 宮城県内の他市町村，東北 5 県からの転入超過が大きく拡大したため，市内他区に対して転出超過となったものの，全体として大幅な社会増となった。

(図 1 2、表 3、統計表第 4 表)

図13 区間人口移動（平成23年 転入ベース）



区間相互における人口移動をみると、最も人口移動が多いのは、青葉・宮城野区間で、宮城野区から青葉区への移動数は2337人となっています。逆に最も人口移動が少ないのは、前年同様、若林・泉区間で、若林区から泉区への移動は404人となっています。

転入ベースでみると、相互間の移動数に最も差があるのは青葉・宮城野区間の移動で、青葉区は792人の転入超過となっています。青葉区がすべての区に対して転入超過となっているのに対し、宮城野区はすべての区に対して転出超過となっています。

転入・転出の差し引きによる、区別の対市内各区社会増減をみると、青葉区はすべての区に対して転入超過で、全体では1983人の転入超過となっています。宮城野区はすべての区に対して転出超過で、市内移動のみで1981人の転出超過となっています。若林区は宮城野区、泉区に対して転入超過で、全体では624人の転出超過となっています。太白区は宮城野区、若林区、泉区に対して転入超過で、全体では700人の転入超過となっています。泉区は宮城野区に対し転入超過で、全体では44人の転出超過となっています。

(図13、表3、統計表第4表)

表3 社会増加数の地域別内訳一区（平成18年～23年）

（単位：人）

区、年次	社 会 増加数	市 内 他 区	宮城県	仙台都市圏		東 北 5 県	東京圏	その他の 地方 (国外含 む)	その他 増加数
				仙台都市 圏内の 他市町村	仙台都市 圏以外の 市町				
青葉区									
平成18年	603	82	585	90	495	1,613	△ 1,530	△ 167	20
19	158	233	450	△ 103	553	1,378	△ 1,847	△ 60	4
20	1,046	275	669	122	547	1,550	△ 1,422	△ 98	72
21	1,160	389	715	85	630	1,184	△ 1,385	65	192
22	1,303	369	666	172	494	1,198	△ 1,028	0	98
23	4,654	1,983	1,911	639	1,272	1,724	△ 974	△ 58	68
宮城野区									
平成18年	903	452	241	△ 139	380	849	△ 569	△ 259	189
19	982	346	353	△ 124	477	659	△ 448	△ 76	148
20	66	△ 32	32	△ 388	420	825	△ 718	△ 140	99
21	△ 473	△ 470	△ 294	△ 548	254	544	△ 490	66	171
22	△ 399	△ 635	157	△ 167	324	438	△ 436	△ 60	137
23	△ 1,594	△ 1,981	1,168	402	766	333	△ 789	△ 465	140
若林区									
平成18年	△ 523	△ 249	65	△ 130	195	494	△ 612	△ 197	△ 24
19	△ 736	△ 255	82	△ 109	191	352	△ 739	△ 180	4
20	48	147	54	△ 145	199	347	△ 429	△ 113	42
21	718	546	147	△ 61	208	371	△ 393	19	28
22	30	△ 2	70	△ 12	82	303	△ 259	△ 31	△ 51
23	△ 376	△ 624	683	286	397	313	△ 465	△ 329	46
太白区									
平成18年	△ 1,214	△ 516	74	△ 248	322	687	△ 1,107	△ 490	138
19	△ 1,608	△ 491	△ 237	△ 474	237	687	△ 1,319	△ 349	101
20	△ 1,199	△ 493	△ 69	△ 475	406	639	△ 1,168	△ 207	99
21	△ 1,080	△ 603	△ 188	△ 499	311	774	△ 972	△ 190	99
22	118	62	50	△ 204	254	542	△ 565	△ 43	72
23	2,537	700	1,934	1,127	807	1,055	△ 913	△ 436	197
泉 区									
平成18年	△ 172	287	258	△ 127	385	719	△ 1,187	△ 299	50
19	△ 296	213	77	△ 329	406	1,015	△ 1,338	△ 298	35
20	△ 327	162	5	△ 319	324	724	△ 1,042	△ 228	52
21	△ 84	182	173	△ 221	394	758	△ 1,053	△ 192	48
22	180	234	218	△ 133	351	564	△ 833	△ 60	57
23	1,319	△ 44	964	146	818	910	△ 719	84	124